

100	10005
人間論【英】	
〔担当 者〕 崎川 修 他2名 〔開 講 期〕 1期 〔授 業 形 態〕 講義 〔単位〕 2 〔科目ナンバリング〕 100A1-1000-o2	

●本授業の概要：

本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」の追求や、他者に奉仕する精神について、それを社会の中で実践している特別講師6名の講義も受けることで、自分の問題として考え、実践することを学ぶ。

●到達目標：

1. 本学に入学した新1年生として、本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観について理解を深め、それをレポートにまとめることができる。
 2. 「生きることの意義の追求」を大学の使命と位置づける本学のリベラルアーツ教育における、学問修得の目的を意識し、有機的な学びの姿勢を実行できる。

●成績評価の基準：

受講態度・リアクションペーパー45％（到達目標2）
 期末レポート55％（到達目標1）

●留意事項：

・1～3および7～12の授業は3学科合同でカリタス200で行う。4～6・13～15は各クラスの教室で行い、それぞれの担当教員が講義を行う。授業の進行については初回に説明する。
 ・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を書いてもらう。主体的に授業に臨むこと。
 ・オフィスアワーは、授業中に指示する。
 ・レポートの課題などを、manabaで指示することがあるので必ず登録しておくこと。

●実務経験の授業への活用方法：

キリスト教精神に基づく他者への奉仕を社会の中で実践している特別講師6名を招き、具体的な活動と、その支えとなっている価値観を学生に伝える。また、大学時代の学びや経験とキャリア形成への具体的なつながりについて意識し、考えていくきっかけを与えることを目指す。

●授業予定一覧：

1. 導入：「人間論」で何を学ぶか
 2. 聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵理事長）
 3. キリスト教の精神と聖書の人間観（原田豊己学長）
 4. キリスト教の人間理解①神に創造された人間
 5. キリスト教の人間理解②イエス・キリストの福音
 6. キリスト教の人間理解③神の愛を知る
 7. みつかる、つながる、よくなっていく～人との出会い、イエスの愛（太田直宏：公益財団法人YMCA せとうち代表理事・総主事）
 8. 他者と共鳴する力～国際医療ボランティアの現場から（難波 妙：AMDA 理事）
 9. 持続可能な社会を創るために（池田満之：岡山ユネスコ協会会長）
 10. 身近な社会貢献の始め方(河津泉：(特)岡山NPOセンター/(特)チャリティーサンタ)
 11. キリスト教精神にもとづくキャリアデザイン(畑田典子:キャリアコンサルタント)
 12. 真の幸せを生きる（橋本晶子：援助修道会）
 13. 人間として生きること①「考える葦」としての人間
 14. 人間として生きること②「苦悩」を見つめる
 15. 人間として生きること③「かかわり」を生きる
 期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）授業担当者の指示に従い、配布される資料を読んでおくこと。
 （復習）各回の授業および特別講義の内容の理解に基づくレポート課題が出されるので、各回のノートの整理や、講義内容に関わる文献やニュースなどの収集など、授業外での学習を積極的に行ってほしい。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

＜必携書＞
 『聖書 新共同訳』、日本聖書協会
 （初回授業時に販売予定。詳しくは新入生オリエンテーションで説明する。）

100	10015
人間論【人】	
〔担 当 者〕 崎川 修 他2名 〔開 講 期〕 1期 〔授 業 形 態〕 講義 〔単位〕 2 〔科目ナンバリング〕 100A1-1000-o2	

●本授業の概要：

本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」の追求や、他者に奉仕する精神について、それを社会の中で実践している特別講師6名の講義も受けることで、自分の問題として考え、実践することを学ぶ。

●到達目標：

1. 本学に入学した新1年生として、本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観について理解を深め、それをレポートにまとめることができる。
 2. 「生きることの意義の追求」を大学の使命と位置づける本学のリベラルアーツ教育における、学問修得の目的を意識し、有機的な学びの姿勢を実行できる。

●成績評価の基準：

受講態度・リアクションペーパー45％（到達目標2）
 期末レポート55％（到達目標1）

●留意事項：

・1～3および7～12の授業は3学科合同でカリタス200で行う。4～6・13～15は各クラスの教室で行い、それぞれの担当教員が講義を行う。授業の進行については初回に説明する。
 ・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を書いてもらう。主体的に授業に臨むこと。
 ・オフィスアワーは、授業中に指示する。
 ・レポートの課題などを、manabaで指示することがあるので必ず登録しておくこと。

●実務経験の授業への活用方法：

キリスト教精神に基づく他者への奉仕を社会の中で実践している特別講師6名を招き、具体的な活動と、その支えとなっている価値観を学生に伝える。また、大学時代の学びや経験とキャリア形成への具体的なつながりについて意識し、考えていくきっかけを与えることを目指す。

●授業予定一覧：

1. 導入：「人間論」で何を学ぶか
 2. 聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵理事長）
 3. キリスト教の精神と聖書の人間観（原田豊己学長）
 4. キリスト教の人間理解①神に創造された人間
 5. キリスト教の人間理解②イエス・キリストの福音
 6. キリスト教の人間理解③神の愛を知る
 7. みつかる、つながる、よくなっていく～人との出会い、イエスの愛（太田直宏：公益財団法人YMCA せとうち代表理事・総主事）
 8. 他者と共鳴する力～国際医療ボランティアの現場から（難波 妙：AMDA 理事）
 9. 持続可能な社会を創るために（池田満之：岡山ユネスコ協会会長）
 10. 身近な社会貢献の始め方(河津泉：(特)岡山NPOセンター/(特)チャリティーサンタ)
 11. キリスト教精神にもとづくキャリアデザイン(畑田典子:キャリアコンサルタント)
 12. 真の幸せを生きる（橋本晶子：援助修道会）
 13. 人間として生きること①「考える葦」としての人間
 14. 人間として生きること②「苦悩」を見つめる
 15. 人間として生きること③「かかわり」を生きる
 期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）授業担当者の指示に従い、配布される資料を読んでおくこと。
 （復習）各回の授業および特別講義の内容の理解に基づくレポート課題が出されるので、各回のノートの整理や、講義内容に関わる文献やニュースなどの収集など、授業外での学習を積極的に行ってほしい。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

＜必携書＞
 『聖書 新共同訳』、日本聖書協会
 （初回授業時に販売予定。詳しくは新入生オリエンテーションで説明する。）

人間論【児】

〔担 当 者〕須沢 かおり 他 2 名
〔開 講 期〕1 期
〔授 業 形 態〕講義 〔単位〕2
〔科目ナンバリング〕100A1-1000-o2

●本授業の概要：

本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」の追求や、他者に奉仕する精神について、それを社会の中で実践している特別講師6名の講義も受けることで、自分の問題として考え、実践することを学ぶ。

●到達目標：

1. 本学に入学した新1年生として、本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観について理解を深め、それをレポートにまとめることができる。
2. 「生きることの意義の追求」を大学の使命と位置づける本学のリベラルアーツ教育における、学問修得の目的を意識し、有機的な学びの姿勢を実行できる。

●成績評価の基準：

受講態度・リアクションペーパー45%（到達目標2）
期末レポート55%（到達目標1）

●留意事項：

・1～3および7～12の授業は3学科合同でカリタス200で行う。4～6・13～15は各クラスの教室で行い、それぞれの担当教員が講義を行う。授業の進行については初回に説明する。
・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を書いてもらう。主体的に授業に臨むこと。
・オフィスアワーは、授業中に指示する。
・レポートの課題などを、manabaで指示することがあるので必ず登録しておくこと。

●実務経験の授業への活用方法：

キリスト教精神に基づく他者への奉仕を社会の中で実践している特別講師6名を招き、具体的な活動と、その支えとなっている価値観を学生に伝える。また、大学時代の学びや経験とキャリア形成への具体的なつながりについて意識し、考えていくきっかけを与えることを目指す。

●授業予定一覧：

1. 導入：「人間論」で何を学ぶか
2. 聖ジュリー・ピアートと建学の精神（津田葵理事長）
3. キリスト教の精神と聖書の人間観（原田豊己学長）
4. キリスト教の人間理解①神に創造された人間
5. キリスト教の人間理解②イエス・キリストの福音
6. キリスト教の人間理解③神の愛を知る
7. みつかる、つながる、よくなっていく～人との出会い、イエスの愛（太田直宏：公益財団法人YMCA せとうち代表理事・総主事）
8. 他者と共鳴する力～国際医療ボランティアの現場から（難波 妙：AMDA 理事）
9. 持続可能な社会を創るために（池田満之：岡山ユネスコ協会会長）
10. 身近な社会貢献の始め方(河津泉：(特)岡山NPOセンター/(特)チャリティーサンタ)
11. キリスト教精神にもとづくキャリアデザイン(畑田典子：キャリアコンサルタント)
12. 真の幸せを生きる（橋本晶子：援助修道会）
13. 人間として生きること①「考える華」としての人間
14. 人間として生きること②「苦悩」を見つめる
15. 人間として生きること③「かかわり」を生きる
期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）授業担当者の指示に従い、配布される資料を読んでおくこと。
（復習）各回の授業および特別講義の内容の理解に基づくレポート課題が出されるので、各回のノートの整理や、講義内容に関わる文献やニュースなどの収集など、授業外での学習を積極的に行ってほしい。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>
『聖書 新共同訳』日本聖書協会
（初回授業時に販売予定。詳しくは新入生オリエンテーションで説明する。）

人間論【現】

〔担 当 者〕須沢 かおり 他 2 名
〔開 講 期〕1 期
〔授 業 形 態〕講義 〔単位〕2
〔科目ナンバリング〕100A1-1000-o2

●本授業の概要：

本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」の追求や、他者に奉仕する精神について、それを社会の中で実践している特別講師6名の講義も受けることで、自分の問題として考え、実践することを学ぶ。

●到達目標：

1. 本学に入学した新1年生として、本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観について理解を深め、それをレポートにまとめることができる。
2. 「生きることの意義の追求」を大学の使命と位置づける本学のリベラルアーツ教育における、学問修得の目的を意識し、有機的な学びの姿勢を実行できる。

●成績評価の基準：

受講態度・リアクションペーパー45%（到達目標2）
期末レポート55%（到達目標1）

●留意事項：

・1～3および7～12の授業は3学科合同でカリタス200で行う。4～6・13～15は各クラスの教室で行い、それぞれの担当教員が講義を行う。授業の進行については初回に説明する。
・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を書いてもらう。主体的に授業に臨むこと。
・オフィスアワーは、授業中に指示する。
・レポートの課題などを、manabaで指示することがあるので必ず登録しておくこと。。

●実務経験の授業への活用方法：

キリスト教精神に基づく他者への奉仕を社会の中で実践している特別講師6名を招き、具体的な活動と、その支えとなっている価値観を学生に伝える。また、大学時代の学びや経験とキャリア形成への具体的なつながりについて意識し、考えていくきっかけを与えることを目指す。

●授業予定一覧：

1. 導入：「人間論」で何を学ぶか
2. 聖ジュリー・ピアートと建学の精神（津田葵理事長）
3. キリスト教の精神と聖書の人間観（原田豊己学長）
4. キリスト教の人間理解①神に創造された人間
5. キリスト教の人間理解②イエス・キリストの福音
6. キリスト教の人間理解③神の愛を知る
7. みつかる、つながる、よくなっていく～人との出会い、イエスの愛（太田直宏：公益財団法人YMCA せとうち代表理事・総主事）
8. 他者と共鳴する力～国際医療ボランティアの現場から（難波 妙：AMDA 理事）
9. 持続可能な社会を創るために（池田満之：岡山ユネスコ協会会長）
10. 身近な社会貢献の始め方(河津泉：(特)岡山NPOセンター/(特)チャリティーサンタ)
11. キリスト教精神にもとづくキャリアデザイン(畑田典子：キャリアコンサルタント)
12. 真の幸せを生きる（橋本晶子：援助修道会）
13. 人間として生きること①「考える華」としての人間
14. 人間として生きること②「苦悩」を見つめる
15. 人間として生きること③「かかわり」を生きる
期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）授業担当者の指示に従い、配布される資料を読んでおくこと。
（復習）各回の授業および特別講義の内容の理解に基づくレポート課題が出されるので、各回のノートの整理や、講義内容に関わる文献やニュースなどの収集など、授業外での学習を積極的に行ってほしい。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>
『聖書 新共同訳』日本聖書協会
（初回授業時に販売予定。詳しくは新入生オリエンテーションで説明する。）

100	10065
人間論〔食〕	
〔担当 者〕 山根 道公 他2名	
〔開 講 期〕 1期	
〔授 業 形 態〕 講義 〔単位〕 2	
〔科目ナンバリング〕 100A1-1000-o2	

●本授業の概要：

本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」の追求や、他者に奉仕する精神について、それを社会の中で実践している特別講師6名の講義も受けることで、自分の問題として考え、実践することを学ぶ。

●到達目標：

1. 本学に入学した新1年生として、本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観について理解を深め、それをレポートにまとめることができる。
2. 「生きることの意義の追求」を大学の使命と位置づける本学のリベラルアーツ教育における、学問修得の目的を意識し、有機的な学びの姿勢を実行できる。

●成績評価の基準：

受講態度・リアクションペーパー45%（到達目標2）
 期末レポート55%（到達目標1）

●留意事項：

- ・1～3および7～12の授業は3学科合同でカリタス200で行う。4～6・13～15は各クラスの教室で行い、それぞれの担当教員が講義を行う。授業の進行については初回に説明する。
- ・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を書いてもらう。主体的に授業に臨むこと。
- ・オフィスアワーは、授業中に指示する。
- ・レポートの課題などを、manabaで指示することがあるので必ず登録しておくこと。

●実務経験の授業への活用方法：

キリスト教精神に基づく他者への奉仕を社会の中で実践している特別講師6名を招き、具体的な活動と、その支えとなっている価値観を学生に伝える。また、大学時代の学びや経験とキャリア形成への具体的なつながりについて意識し、考えていくきっかけを与えることを目指す。

●授業予定一覧：

1. 導入：「人間論」で何を学ぶか
 2. 聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵理事長）
 3. キリスト教の精神と聖書の間観（原田豊己学長）
 4. キリスト教の人間理解①神に創造された人間
 5. キリスト教の人間理解②イエス・キリストの福音
 6. キリスト教の人間理解③神の愛を知る
 7. みつかる、つながる、よくなっていく～人との出会い、イエスの愛（太田直宏：公益財団法人YMCA せとうち代表理事・総主事）
 8. 他者と共鳴する力～国際医療ボランティアの現場から（難波 妙：AMDA 理事）
 9. 持続可能な社会を創るために（池田満之：岡山ユネスコ協会会長）
 10. 身近な社会貢献の始め方（河津泉：（特）岡山NPOセンター／（特）チャリティーサンタ）
 11. キリスト教精神にもとづくキャリアデザイン（畑田典子：キャリアコンサルタント）
 12. 真の幸せを生きる（橋本晶子：援助修道会）
 13. 人間として生きること①「考える華」としての人間
 14. 人間として生きること②「苦悩」を見つめる
 15. 人間として生きること③「かかわり」を生きる
- 期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）授業担当者の指示に従い、配布される資料を読んでおくこと。
 （復習）各回の授業および特別講義の内容の理解に基づくレポート課題が出されるので、各回のノートの整理や、講義内容に関わる文献やニュースなどの収集など、授業外での学習を積極的に行ってほしい。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>
 『聖書 新共同訳』日本聖書協会
 （初回授業時に販売予定。詳しくは新入生オリエンテーションで説明する。）

100	10085
人間論〔日〕	
〔担当 者〕 山根 道公 他2名	
〔開 講 期〕 1期	
〔授 業 形 態〕 講義 〔単位〕 2	
〔科目ナンバリング〕 100A1-1000-o2	

●本授業の概要：

本学の建学の精神の根幹にあるキリスト教的人間観を、本学の歴史や理念、またその基礎にある聖書を通して考察する。また、キリスト教的価値観に基づいた「生き方」の追求や、他者に奉仕する精神について、それを社会の中で実践している特別講師6名の講義も受けることで、自分の問題として考え、実践することを学ぶ。

●到達目標：

1. 本学に入学した新1年生として、本学の教育理念および建学の精神の根底にあるキリスト教的人間観について理解を深め、それをレポートにまとめることができる。
2. 「生きることの意義の追求」を大学の使命と位置づける本学のリベラルアーツ教育における、学問修得の目的を意識し、有機的な学びの姿勢を実行できる。

●成績評価の基準：

受講態度・リアクションペーパー45%（到達目標2）
 期末レポート55%（到達目標1）

●留意事項：

- ・1～3および7～12の授業は3学科合同でカリタス200で行う。4～6・13～15は各クラスの教室で行い、それぞれの担当教員が講義を行う。授業の進行については初回に説明する。
- ・授業が一方通行にならないように毎回リアクションペーパーに意見・質問等を書いてもらう。主体的に授業に臨むこと。
- ・オフィスアワーは、授業中に指示する。
- ・レポートの課題などを、manabaで指示することがあるので必ず登録しておくこと。

●実務経験の授業への活用方法：

キリスト教精神に基づく他者への奉仕を社会の中で実践している特別講師6名を招き、具体的な活動と、その支えとなっている価値観を学生に伝える。また、大学時代の学びや経験とキャリア形成への具体的なつながりについて意識し、考えていくきっかけを与えることを目指す。

●授業予定一覧：

1. 導入：「人間論」で何を学ぶか
 2. 聖ジュリー・ピリアートと建学の精神（津田葵理事長）
 3. キリスト教の精神と聖書の間観（原田豊己学長）
 4. キリスト教の人間理解①神に創造された人間
 5. キリスト教の人間理解②イエス・キリストの福音
 6. キリスト教の人間理解③神の愛を知る
 7. みつかる、つながる、よくなっていく～人との出会い、イエスの愛（太田直宏：公益財団法人YMCA せとうち代表理事・総主事）
 8. 他者と共鳴する力～国際医療ボランティアの現場から（難波 妙：AMDA 理事）
 9. 持続可能な社会を創るために（池田満之：岡山ユネスコ協会会長）
 10. 身近な社会貢献の始め方（河津泉：（特）岡山NPOセンター／（特）チャリティーサンタ）
 11. キリスト教精神にもとづくキャリアデザイン（畑田典子：キャリアコンサルタント）
 12. 真の幸せを生きる（橋本晶子：援助修道会）
 13. 人間として生きること①「考える華」としての人間
 14. 人間として生きること②「苦悩」を見つめる
 15. 人間として生きること③「かかわり」を生きる
- 期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）授業担当者の指示に従い、配布される資料を読んでおくこと。
 （復習）各回の授業および特別講義の内容の理解に基づくレポート課題が出されるので、各回のノートの整理や、講義内容に関わる文献やニュースなどの収集など、授業外での学習を積極的に行ってほしい。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>
 『聖書 新共同訳』日本聖書協会
 （初回授業時に販売予定。詳しくは新入生オリエンテーションで説明する。）

キリスト教学Ⅰ

〔担 当 者〕山根 道公
〔開 講 期〕1 期
〔授 業 形 態〕講義 〔単位〕2
〔科目ナンバリング〕100B1-2340-o2

●本授業の概要：

死にたいと思うほどの人生の挫折の中で聖書に出会い、生きる希望を見出し、その喜びを文学作品に表わした人たちがいる。そうした作品にも触れながら、新約聖書の福音書を中心にイエスの生涯と教えについて学び、闇の中にいる人間に希望の光を与えるイエスの福音（喜びの知らせ）とはどのような精神、価値観をもつものかを考察する。その上で、そうしたキリスト教的精神、価値観が、現代社会にあってどのような意味をもつか、さらに自分自身の問題とどのような関わりをもつか、考え、リアクションペーパーによる応答を通して理解を深める。また、そうした理解に必要なキリスト教の基礎知識を学ぶ。

●到達目標：

1. キリスト教の原点であるイエスの生涯とその福音について説明することができる。
2. そうしたキリスト教的精神が現代社会にあってどのような意味をもつか、さらに自分の問題とどのように関わるか、自分の考えを述べることができる。
3. 1・2のために必要なキリスト教の基礎知識を説明することができる。

●成績評価の基準：

- ・毎回課すリアクションペーパー…45％（到達目標2）
- ・期末レポート…55％（到達目標1・2・3）

●留意事項：

- ・授業が一方通行にならないようにリアクションペーパーに毎回、授業の内容に対する意見・質問、またキリスト教の知識についての質問等を書いてもらい、次の授業の冒頭で応答するので、受講者は主体的に授業に臨み、自分の問題として考えること。
- ・オフィスアワーは授業中に指示する。

●実務経験の授業への活用方法：

●授業予定一覧：

1. 導入：現代人と聖書、イエスの福音に出会った人たち（遠藤周作、井上洋治、三浦綾子、星野富弘、水野源三等）
 2. 『新約聖書』の構成・風土的背景
 3. イエスの生涯、クリスマスの意味
 4. 洗礼者ヨハネとイエス、メシアニズム
 5. 神の国の福音宣教、公生活の開始
 6. 奇蹟物語と慰め物語
 7. イエスの祈り
 8. ユダヤ教指導者層との対決、安息日論争
 9. 北ガリラヤへの逃避行、受難と死の予告
 10. 死を覚悟したエルサレムへの旅
 11. エルサレム入城と最後の晩餐
 12. イエスの受難と十字架の死
 13. イエスの復活顕現物語
 14. 現代人とイエスの福音
 15. まとめ
- 期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）毎回、次の授業のテキストの範囲を伝えるので、必ず読んで、関連の聖書の箇所、疑問点などチェックしておくこと（1時間）。

（復習）期末レポートでは、各回の授業で取り上げた重要なテーマをまとめる課題を出すので、毎回授業のまとめをしておくこと（1時間）。

【必携書（教科書販売）】

遠藤周作『イエスの生涯』（新潮文庫）

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>
『聖書』

キリスト教学Ⅱ

〔担 当 者〕橋本 晶子
〔開 講 期〕1 期
〔授 業 形 態〕講義 〔単位〕2
〔科目ナンバリング〕100B1-2340-o2

●本授業の概要：

<祈りと実存>

宗教や宗派の違いを超えて、人はそれぞれの方法で共に祈ることができる。宗教は文明に衝突をもたらすと言われるが、その反面祈りは、人間の生や死に直接関わっており、希望を創造し、様々な問題の関係修復の突破口にもなり得ると考えられる。

本授業では宗教的事例を分析し、祈る人間の態度、思想、世界観などを提示しながら、祈りの潜在的な可能性を探ることを目的とする。たとえば、困難や危機的状況にある人間は、どのように祈りによって自己の統合を図ろうとするのだろうか。実際に、様々な祈りの手法も紹介しながら、日常生活に活かせる実存的な祈りの習得も目指したい。

●到達目標：

1. 沈黙、静寂の経験を通して、「祈り」において心の動き、焦り、ざわつきなどに気づき、自分自身の「いま、ここ」という存在の深みに触れる。日常生活の中で「祈ること」がいかに、様々な物事、出来事への「洞察」と関わっているかを観ることができる。
2. 授業で配布するプリント資料を熟読することによって、大学の理念でもあるキリスト教精神にもとづく、真なるもの・善なるもの・美なるものを追求し考察することができる。
3. 聖イグナチオ・デ・ロヨラの祈りの方法論である『霊操』の精神にふれながら、祈りのエクササイズを行い「洞察力」の感得を目指し、日々の生活で実践することができる。
4. グループでの話し合い、毎回、リアクション・ペーパーにおいて「経験を言葉化する」ことができる。

●成績評価の基準：

リアクションペーパー	45％（到達目標1.3.4）
課題レポート	55％（到達目標1.2.3）

●留意事項：

本授業を履修する学生は時間厳守のうえ不要な私語は謹むこと。
毎授業におけるリアクションペーパーの返却、回収、資料の配布などを迅速に行うため、座席指定とする。

●実務経験の授業への活用方法：

カトリックの修道女として、東日本大震災、西日本豪雨災害など被災地での諸宗教の祈り、また東アジアのキリスト教ネットワークと連携し、平和への祈りを継続している。
また、現在は青少年の人生の選定において、祈りのうちに同伴に関わっている。これらの経験を踏まえ、学生が講義および日常生活の中で「祈り」を経験し、考察するプロセスを通して、自己の存在の深みにふれることを目指したい。

●授業予定一覧：

1. 導入ー祈りとは
2. 祈りの諸相①日常性
3. 祈りの諸相②通過儀礼と人間成長
4. 祈りの諸相③儀式
5. 祈りの諸相④身体性
6. 祈りの諸相⑤非暴力
7. 祈りの方法論：ロヨラの聖イグナチオ『霊操』を参考に①キリスト教と祈り
8. 祈りの方法論：ロヨラの聖イグナチオ『霊操』を参考に②わたしの歴史／物語／内省
9. 祈りの方法論：ロヨラの聖イグナチオ『霊操』を参考に③活動における祈り
10. 祈りの方法論：ロヨラの聖イグナチオ『霊操』を参考に④愛、いかに生きるか
11. 不条理と祈り①死の前に立つ人間
12. 不条理と祈り②惨禍の中でー祈りのナガサキ、怒りのヒロシマ
13. 不条理と祈り③死者とともに生きる
14. まとめ：カトリック・ミサにおける祈り
15. ミサ

定期試験（レポート提出）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

授業内容全体に関係する「文献表」を配布するので、補助的読書に取り組むこと。また、授業内で行う「祈りのエクササイズ」を日常生活の中で実践することが望ましい。なお、期末試験のためのレポート作成に必要な課題図書は学期の中盤で提示する。早めにテーマを決めレポートの準備を行うこと。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>
講義内でプリント資料を配布。

<参考書等>

書籍名：『ある巡礼者の物語ーイグナチオ・デ・ロヨラ自叙伝』、著者名：イグナチオ・デ・ロヨラ著、門脇佳吉訳・注解、出版社・出版年：岩波書店、2000年

書籍名：『霊操』、著者名：イグナチオ・デ・ロヨラ著、門脇佳吉訳・注解、出版社・出版年：岩波書店、1995年

100	10155
キリスト教学Ⅲ	
〔担 当 者〕須沢 かおり 他 4 名	
〔開 講 期〕2 期	
〔授 業 形 態〕講義 〔単位〕2	
〔科目ナンバリング〕100B1-1234-o2	

●本授業の概要：

本学の建学の精神のルーツでもあるキリスト教的な女性の生き方を聖書に照らして理解し、実践に結びつけます。旧約聖書、新約聖書、文学に見る女性を理解し、さらに現代社会において「いのち、生活」の中に女性の生き方を探り、私たちひとりひとりが、いかに生きるべきかを具体的に考えます。ノートルダム清心女子大学に学ぶことの意義についての理解を深め、キリスト教の最も中心的な祝祭であるクリスマスミサに参加することを通して、キリスト教の実践を学びます。

本講義は、学内の教員による輪講の形式で行われます。それぞれの講師の専門性と独自性を生かし、多様な視点から論考し、実践します。

●到達目標：

本講義を通して、ノートルダム清心女子大学の建学の精神にもとづく生き方についての理解を深め、「他者とともに、他者のために生き、隣人に仕える女性」としての具体的な生き方を見出します。カトリックの典礼の中で最も重要な典礼である、ミサについての理解を深め、学生の主体性を発揮して、クリスマス準備し、積極的に参加します。講義と実践の両面から、建学の精神を生きることをめざします。

●成績評価の基準：

リアクション・ペーパー 20%
クリスマスの準備とミサへの参加 40%
レポート 40%

●留意事項：

オフィスアワー 授業中に指示する

●実務経験の授業への活用方法：

本授業の目的は、「隣人とともに、隣人のために生きる女性」という建学の精神についての理解を深め、実践することにあります。講義はオムニバス授業の形式で複数の教員による輪講によって進められます。建学の精神を体得し、実践するために、クリスマスを学生が中心となって準備し、ミサに参加します。クリスマスとカトリックの中心的典礼であるミサについての理解を深め、準備するために、カトリック教会での司牧経験の豊かな大西勇史カトリック司祭を特別講師として招きます。またミサ、典礼における音楽、聖歌は重要でため、本学附属幼稚園園長で、指揮・歌唱指導者の大谷文彦氏に聖歌の練習と音楽指導にあたります。学生が主体的に準備し、大学でのクリスマスミサに参加します。

●授業予定一覧：

「隣人とともに、隣人のために生きる女性」ー考察と実践

1. 建学の精神がめざす生き方
2. 愛を生きる女性
3. いのちへの責任
4. 思想史の中の女性
5. 女性のキャリア
6. 女性と家族
7. 日本の文化とキリスト教
8. 児童文化とキリスト教
9. ヨーロッパ文化とクリスマス
10. クリスマスの意味と実践（1）（広島教区司祭 大西勇史）
11. クリスマスの意味と実践（2）（広島教区司祭 大西勇史）
12. クリスマスの音楽と実践（1）（本学附属幼稚園園長、指揮・歌唱指導者 大谷文彦）
13. クリスマスの音楽と実践（2）（本学附属幼稚園園長、指揮・歌唱指導者 大谷文彦）
14. 私たちのクリスマスミサ（ミサへの参加）
15. 清心スピリットに生きる
16. まとめ、レポート

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

授業への積極的、主体的な取り組みを求めます。特にクリスマス準備し、ミサに参加し、キリスト教がどのように実践されているかを体得し、今後の生活に生かしてください。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>
聖書

<参考書等>
授業で指示する

100	10165
キリスト教学Ⅳ	
〔担 当 者〕西井 麻美	
〔開 講 期〕2 期	
〔授 業 形 態〕講義・演習 〔単位〕2	
〔科目ナンバリング〕100B1-1234-o2	

●本授業の概要：

現代社会に対して、カトリックはどのように向き合うことを勧めているだろうか。現代社会の様々な課題（女性の社会参加と教育、持続可能な社会づくり、多文化共生など）に関わって、出されているカトリックのメッセージに着目しながら、これからの社会を生きる指針について考える。文献・資料として、現教皇フランシスコが2015年に公にした『回勅 ラウダート・シ』（邦訳、2016年）やワールドユースデーや国際的催しに関連するメッセージなどを参照する。授業では、ディスカッションを取り入れる。

●到達目標：

現代的課題に目を向けながら、カトリックの精神について考えたことを、自らの生活に生かすような省察ができるようになる。

●成績評価の基準：

授業態度……50%
課題提出（レポート）……50%
により、総合的に評価する。

●留意事項：

履修定員を70名を上限とする。70名を超える履修希望がある場合、第1回の授業にて調整を行う（抽選）。ディスカッションを取り入れるため、取り上げるテーマに関して、主体的に考え、意見を述べてもらいたい。各テーマに関して発表してもらおうので、積極的に取り組むことを期待する。オフィスアワーは、授業中に指示する。

●実務経験の授業への活用方法：

●授業予定一覧：

- 1 オリエンテーション
- 2 現代社会を取り巻く課題：女性の社会参加
- 3 女性の社会参加に関わるカトリックのメッセージ
- 4 カトリック校で学ぶということ
- 5 女性の社会参加とカトリックについての発表
- 6 現代社会を取り巻く課題：環境・開発
- 7 開発に関わるカトリックのメッセージ
- 8 『回勅』を読む
- 9 環境・開発とカトリックについての発表
- 10 現代社会を取り巻く課題：多文化共生
- 11 多文化共生に関わるカトリックのメッセージ
- 12 多文化共生とカトリックについての発表
- 13 現代社会を取り巻く課題：若者に関連して
- 14 若者に関わるカトリックのメッセージ
- 15 若者とカトリックについての発表

定期試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）テーマについて、各自で調べてみる。文献・資料を読み込む。
（復習）授業で考えたこと、学んだことを整理しながら、さらに考えを深めること。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<参考書等>
『回勅 ラウダート・シ』、教皇フランシスコ、カトリック中央協議会

キリスト教学Ⅴ

〔担 当 者〕 橋本 晶子
〔開 講 期〕 2 期
〔授 業 形 態〕 講義 〔単位〕 2
〔科目ナンバリング〕 100B1-1234-o2

●本授業の概要：

＜『マルコによる福音書』を読む―イエスとは一体何者であるのか＞

『聖書』は古代のキリスト教会が編集した書物であるが、キリスト教の専有物ではない。たとえば『聖書』を全人類にとっての古典文学書として読むなら、そこには人間の生き方・社会のあり方に対する、様々な根元的な問いかけが含まれていることに気づくだろう。世界のベストセラーとまでいわれる『聖書』から、私たちはどのようなメッセージを聴き、学び、生活の中で生きることができのだろうか。

本授業は、歴史を踏まえつつ聖書の読み方の基礎を学び、生活の中で味わい、対話を通して理解を深めることを目的とする。今年度は特に『マルコによる福音書』を取り上げ、イエスとは一体何者であるのかを探求しながら聖書への親しみを深める。

●到達目標：

- 1 聖書に描かれた時代背景を歴史的に捉えることができる。
- 2 聖書の読み方として挙げられるアプローチを理解し、読むことができる。
- 3 学期中にとりあげられるテーマについて、聖書の視点（メッセージ）を理解し、それを自身の生活経験を通して考察することができる。
- 4 上記3を、クラスで分かち合い、対話を通して再度ふりかえり、考えたことを言語化し記述できる。

●成績評価の基準：

リアクションペーパー45%（到達目標1.2.4）
課題レポート 55%（到達目標2.3.4）

●留意事項：

本授業を履修する学生は時間厳守のうえ、不要な私語を謹むこと。
毎授業におけるリアクションペーパーの返却、回収、資料の配布などを迅速に行うため、座席指定とする。

●実務経験の授業への活用方法：

●授業予定一覧：

1. 導入「聖書」とは何か
 2. 古代イスラエル史の概観とユダヤ教
 3. イエスの生きたパレスチナとユダヤ教
 4. 『マルコによる福音書』へのアプローチ①
 5. 『マルコによる福音書』へのアプローチ②
 6. イエスの福音①イエスと弟子たち
 7. イエスの福音②たとえ話
 8. イエスの福音③共食といやし
 9. イエスの福音④論争と対立
 10. イエスの福音⑤受難物語
 11. イエスの福音⑥受難物語
 12. イエスの福音⑦復活
 13. イエスとは何者であるのか
 14. 教会の成立と宣教
 15. まとめとミサ
- 定期試験（課題レポート提出）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

毎回、次週に向けての朗読箇所と要点が提示されるので、受講生は聖書テキストを読み日々の生活の中での味わい、授業に臨んでほしい。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

＜必携書＞

『聖書』各自で用意すること。授業中に指示する。

＜参考書等＞

授業中に、必要に応じて資料プリントを配布する。

キリスト教学Ⅵ

〔担 当 者〕 出村 和彦
〔開 講 期〕 1 期
〔授 業 形 態〕 講義 〔単位〕 2
〔科目ナンバリング〕 100B1-2340-o2

●本授業の概要：

アウグスティヌスの生涯と思想を通じてみた古代末期キリスト教の成立を概観すると共に、アウグスティヌスを通じて形成されてきた西欧のキリスト教の特徴をわかりやすく講義する。

●到達目標：

アウグスティヌス (354-430) という古代末期に生きたキリスト教思想家の生涯を知ること、彼が一生を通じて古典古代ローマ文化と身をもって架橋させる形で形成していった西欧のキリスト教の特徴を理解できるようになること。

●成績評価の基準：

毎回の積極的応答コメント小レポート30%、中間レポートと期末レポート合わせて70%

●留意事項：

●実務経験の授業への活用方法：

●授業予定一覧：

- 1 はじめに：授業の進め方：アウグスティヌスのイメージ
 - 2 古代末期のキリスト教の状況 新約聖書からニカイア信条まで
 - 3 アウグスティヌスの生い立ち：学校での古典文学教育とキリスト教
 - 4 アウグスティヌスの青春：哲学への目覚め
 - 5 漂泊者の心：キリスト教とマニ教
 - 6 別離と苦悩：「心」の哲学へ
 - 7 新プラトン哲学との出会いとパウロ書簡の読解
 - 8 回心：聖書を心の内に理解していくことへ
 - 9 永遠のエルサレム：希望と愛について
 - 10 真の宗教を求めて
 - 11 修道規則
 - 12『キリスト教の教え』
 - 13『告白録』
 - 14 アウグスティヌスが信じて理解したキリスト教
 - 15 まとめ
- 期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

次の授業までに読むべき教科書の箇所を指定するのでそこを読んだ上で授業に臨むこと。毎回の授業で、その日の内容に関して参考図書、参考URLを紹介する。興味のある内容に関してそれを参考に理解を深めてほしい。特にレポートには、毎回の小レポート応答と日々の文献研究で深めたテーマに関してより多角的に、発展的な論述を求める。付け焼き刃では間に合わないので、毎回授業を真剣に聴くと共に、積極的な質問や文献研究など、十分な授業外学習を進めてほしい。

【必携書（教科書販売）】

『アウグスティヌス「心」の哲学者』、出村和彦、岩波書店
アウグスティヌス『告白』Ⅰ、アウグスティヌス 山田晶訳、中央公論新社
アウグスティヌス『告白』Ⅱ、アウグスティヌス 山田晶訳、中央公論新社

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

100	10205
キリスト教学Ⅶ	
[担 当 者] 小林 修典 [開 講 期] 1 期 [授 業 形 態] 講義 [単位] 2 [科目ナンバリング] 100B1-2340-o2	

●本授業の概要：
近代の日本の文化に、キリスト教はどのようにかかわってきたかを考察する。明治から昭和にかけて、キリスト教の受容がどのように行なわれていったかを具体的にみていく。

●到達目標：
日本文化の様々な分野に見られるキリスト教思想とのかかわりに親しみ、理解を深める。

●成績評価の基準：
平常点（課題など） 20%
期末レポート 30%
期末試験 50%

●留意事項：
オフィスアワーは授業中に指示する。

●実務経験の授業への活用方法：

- 授業予定一覧：
- I 近代日本とキリスト教
 1. 歴史的側面
 - II 日本語による聖書と讃美歌・聖歌
 2. 聖書の翻訳
 3. 讃美歌と聖歌
 - III 伝統的様式で表現された信仰
 4. 短歌
 5. 俳句
 - IV 歴史と文芸
 6. 信徒発見と「旅の話」
 7. 伊万里県事件
 8. キリシタン・南蛮趣味の文芸
 - V 岡山のキリスト教
 9. キリシタン史の岡山
 10. 石井十次をめぐる人々
 - VI 児童文学とキリスト教
 11. キリスト教児童文学の流れ
 12. 「フランダースの犬」の翻訳の背景
 13. 平沢克巳の童話
 - VII 信仰と美術
 14. 日本のキリスト教美術
 - VIII まとめ
 15. 課題発表

期末試験

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：
自主的かつ積極的に予習・復習をすることが望まれる。特に、配布資料を読み込んでおくことが重要である。各自の関心に基づいて探究するテーマの研究成果を課題レポートとして学期末に提出するので、毎回の授業への積極的な参加と、十分な授業外学習が求められる。なお、期末試験は、授業で扱った、日本のキリスト教文化についての基礎的な知識を問うものである。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】
＜必携書＞
適宜、授業中に指示する。
＜参考書等＞
必要に応じて、印刷物を配布する。

100	10215
キリスト教学Ⅷ	
[担 当 者] 高木 孝子 [開 講 期] 1 期 [授 業 形 態] 講義 [単位] 2 [科目ナンバリング] 100B1-2340-o2	

●本授業の概要：
人生の途上でぶつかる孤独・自己嫌悪・挫折・友情・愛・性などの問題から、私たちにとって生の意味をキリスト教を通して検討していきたい。

●到達目標：
フェミニスト神学の視座から光をあて、女性をめぐるイデオロギーとステータスの相関性について探究していきたい。

●成績評価の基準：
受講態度 20%
課題の達成度 20%
学期末のレポート 60%

●留意事項：
人生の重要な課題である「生の意味」について学ぶ好機として、積極的な参加を期待する。
オフィスアワー 授業中に指示する。

●実務経験の授業への活用方法：

- 授業予定一覧：
1. 自分との出会い
 2. 自己を受容するとは
 3. 自己受容
 4. 大地のように私たちを包むもの—同伴者イエス
 5. 女性の見るイエスの顔
 6. イエスの女性に対する振る舞い方—当時の女性たちの地位と役割
 7. イエスの見た男女の共生のあり方
 8. 心の通いを求めて
 9. 友情の真実と哀しみ
 10. 愛されない悩みと愛しえない苦しみ
 11. 愛と許し
 12. 性を考える
 13. 信じ合うことの難しさと喜び
 14. イエスの姿—愛に満ちた自由人
 15. まとめ
- レポート

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：
配布するプリント資料に目を通しておくこと。また授業内で扱った聖書の箇所についても、読み直しておくこと。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】
＜必携書＞
授業中に資料を配布する。

＜参考書等＞
聖書
その他は授業中にそのつど指示する。

キリスト教学Ⅹ	
〔担 当 者〕	崎川 修
〔開 講 期〕	2 期
〔授 業 形 態〕	講義 〔単位〕 2
〔科目ナンバリング〕	100B1-1234-o2

●本授業の概要：

「対話としての信仰：キリスト教的生き方の探求」

キリスト教の根本的な教えである「隣人愛」の本質を見つめながら、いかにして自己の人生を「他者との対話」の内に深め、歩むことが出来るかを考える。福音書におけるイエスの生き方を基本にしつつ、日常的、臨床的な視点との往復を通じて、信仰や祈りの中に生きることのリアリティに触れてほしい。

●到達目標：

1. キリスト教と聖書についての基礎的な知識を身につける。
2. 新約聖書、とくに福音書の読解を通じて、そこで示されているメッセージを理解する。
3. キリスト教的な生き方の本質を、自分自身の人生の問題に照らして考察することができるようになる。

●成績評価の基準：

受講態度、リアクションペーパー :50%（到達目標1,2）

期末レポート：50%（到達目標1,2）

●留意事項：

ただ漫然と出席するのではなく、問題意識を持って参加し、大学での学びや日常生活に有機的に結びつけてほしい。レポートにおけるウェブなどの盗用には厳しく対処するので注意すること。
オフィスアワー：授業中に指示する。

●実務経験の授業への活用方法：

●授業予定一覧：

- 1 導入：隣人とは誰のことか
- 2 「よきサマリア人のたとえ」を読む
- 3 イエスとその時代
- 4 福音書のイエス像
- 5 「サマリアの女」を読む
- 6 イエスと対話的霊性
- 7 イエスにおける「死の準備」
- 8 「ラザロの死」を読む
- 9 復活とは何か
- 10 神との対話：①神と出会う
- 11 神との対話：②サウロの回心
- 12 神との対話：③祈りの本質
- 13 祈りの方法論：①賛美と感謝
- 14 祈りの方法論：②沈黙と対話
- 15 まとめ

期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

（予習）配布するプリント資料に目を通しておくこと。

（復習）授業内で扱った聖書の箇所を、その前後を含めて読み直しておくこと。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>

『聖書』

その他プリントを随時配布する。

<参考書等>

授業内で随時紹介する。

キリスト教学Ⅹ	
〔担 当 者〕	須沢 かおり
〔開 講 期〕	2 期
〔授 業 形 態〕	講義・実習 〔単位〕 2
〔科目ナンバリング〕	100B1-1234-o2

●本授業の概要：

本授業では、「キリストの教えを生き、実践する」をテーマとして、現代社会において、キリスト教のメッセージがもたらす実践と実りについて体験します。文献資料、本を読みとく文献学的な学びとともに、実践とボランティアという実践的な学びの機会となります。理論と実践の両面からキリスト教についての理解を深め、それぞれが歩んでゆく人生への指針を追求します。

本年度は、来日が予定されている、教皇フランシスコを取り上げ、回勅、使徒的勅告、講和集などを読み、教皇の使信、メッセージとその実践について学びます。また教皇の来日にともなっ

て、教皇を歓迎する集会に参加し、ボランティアを行います。
来年度以降は、本学の前理事長で教育者の渡辺和子の本を読み、彼女の遺した「渡辺和子はほえみ基金」によって設立された障害児のための保育施設、ひらたえがこ保育園でのボランティ

●到達目標：

フランシスコ教皇の使徒的勅告「福音の喜び」、「喜びに喜べー現代社会における聖性」、「愛の喜び」、回勅「ラウダート・シーとともに暮らす家を大切に」、フランシスコ教皇講話集などを

読み、そこに見られる、フランシスコ教皇のメッセージについて考えます。愛、慈しみ、他者のために、他者とともに生きること、平和の使者、環境問題という現代社会に対する挑戦とも言える教皇のメッセージを理解します。
教皇来日歓迎集会への参加は本授業の中心となるもので、履修者全員の参加を求めます。フ

ランシスコ教皇の平和の使者としての広島訪問の意義を共に分かち合います。来日集会には大

勢の参加者が見込まれ、そのなかには、病者、障害者、高齢者もいることから、ボランティア

として参加し、フランシスコ教皇の「弱き者、助けを必要としている人への慈しみ」の生き方

になりま

●成績評価の基準：

プレゼンテーション 30%

教皇来日の集会への参加、ボランティア 40%

レポート 30%

●留意事項：

オフィスアワー：授業中に指示します。

本年11月に広島で予定されている教皇フランシスコ来日の集会に、ボランティアとして参加することが本授業履修の必須条件となっています。広島での集会に参加できない方は本授業を受講できません。

●実務経験の授業への活用方法：

本授業は、理論と実践の両面からキリスト教を理解することをめざしています。

今年度は、フランシスコ教皇の来日集会でのボランティアとして参加するための準備として、教皇来日の集会を企画・運営しているカトリック広島教区の司祭を特別講師としてお招きし、ボランティアの準備、運営をします。

イタリア、ローマにある教皇庁立グレゴリアン大学の関係の聖職者、カトリック司祭の教授とも緊密に連絡を取り、バチカンの教皇庁における教皇フランシスコの使徒的働きについて、リアルにレポートします。また、須沢が十数年間取り組んでいるルルドでの国際ボランティアの経験を生かし、日本における国際ボランティアのありかたをさぐり、世界の共同体、仲間の一員としてボランティアを実践します。

●授業予定一覧：

1. イントロダクション
2. 教皇フランシスコの生涯
3. 教皇フランシスコの著作 (1) 使徒的勅告「福音の喜び」、「喜びに喜べー現代社会にける聖性」、「愛の喜び」、回勅「ラウダート・シーとともに暮らす家を大切に」、フランシスコ教皇講話集
4. 教皇フランシスコの著作 (2) 使徒的勅告「福音の喜び」
5. 教皇フランシスコの著作 (3) 使徒的勅告「喜びに喜べー現代社会における聖性」
6. 教皇フランシスコの著作 (4) 使徒的勅告「喜びに喜べー現代社会における聖性」
7. 教皇フランシスコの著作 (5) 使徒的勅告、「愛の喜び」
8. 教皇フランシスコの著作 (6) 使徒的勅告、「愛の喜び」
9. 教皇フランシスコの来日のための準備、ボランティア企画、準備 (1)（広島教区司祭）
10. 教皇フランシスコの来日のための準備、ボランティア企画、準備 (2)（広島教区司祭）
11. 教皇フランシスコの来日集会に参加、ボランティア実践 (1)
12. 教皇フランシスコの来日集会に参加、ボランティア実践 (2)
13. 教皇フランシスコの来日集会に参加、ボランティア実践 (3)
14. 教皇フランシスコの来日集会に参加、ボランティア実践 (4)
15. まとめ、レポート

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

フランシスコ教皇の著作を各自が読み、プレゼンテーションし、受講者のディスカッションを行います。また教皇来日集会ではボランティアとして積極的な参加が求められます。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<参考書等>

使徒的勅告「福音の喜び」カトリック中央協議会、「喜びに喜べー現代社会における聖性」カトリック中央協議会、使徒的勅告「愛の喜び」カトリック中央協議会、回勅「ラウダート・シーとともに暮らす家を大切に」カトリック中央協議会、「フランシスコ教皇講話集」（1－5）、カトリック中央協議会、ほか。

キリスト教学ⅩⅠ

〔担 当 者〕出村 和彦
〔開 講 期〕2 期
〔授 業 形 態〕講義 〔単位〕2
〔科目ナンバリング〕100B1-1234-o2

●本授業の概要：

アウグスティヌス (354-430) の後半生の司教としての働きを通じて見えてくるキリスト教の特徴的な視点とその後の西欧や日本のキリスト教思想に与えた影響をわかりやすく講義する。

●到達目標：

アウグスティヌスの思想を通じて、キリスト教で特徴的な視点を理解できるようになること。

●成績評価の基準：

成績評価の基準 毎回の積極的応答コメント小レポート30%、中間レポートと期末レポート合わせて70%

●留意事項：

1期キリスト教学Ⅵの続きで、継続して履修することが望ましいが、2期からの新たな受講を妨げるものではない。2期から履修する学生は教科書『アウグスティヌス「心」の哲学者』前半を予め読んで授業に臨んで下さい。

●実務経験の授業への活用方法：

●授業予定一覧：

- はじめに：授業の進め方：真の宗教を求めて
- アウグスティヌスから学んで（1）永遠と時間
- アウグスティヌスから学んで（2）時間とは何か
- 信仰・希望・愛
- キリスト教で信仰する神は父と子と聖霊の三位一体の神である
- 希望を示す〈主の祈り〉
- 愛の掟・愛の秩序 キリスト教文化の指針
- 「私の重さは私の愛である」
- アウグスティヌス時代の教会の状況（1）：ドナティスト分派と教会の一致
- 司教アウグスティヌスの取り組み
- アウグスティヌス『神の国』
- アウグスティヌス時代の教会の状況（2）ペラギウス論争
- 人類の起源に関する考察 アダムとエヴァ
- 原罪と根本悪
- アウグスティヌスの著作の保存と伝播と受容 まとめ

期末試験（レポート）

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

次の授業までに読むべき教科書の箇所を指定するのでそこを読んだ上で授業に臨むこと。毎回の授業で、その日の内容に関して参考図書、参考URLを紹介する。興味のある内容に関してそれを参考に理解を深めてほしい。特にレポートには、毎回の小レポート応答と日々の文献研究で深めたテーマに関してより多角的に、発展的な論述を求める。付け焼き刃では間に合わないので、毎回授業を真剣に聴くと共に、積極的な質問や文献研究など、十分な授業外学習を進めてほしい。

【必携書（教科書販売）】

『アウグスティヌス「心」の哲学者』, 出村和彦, 岩波書店
アウグスティヌス『告白』Ⅲ, アウグスティヌス 山田晶訳, 中央公論新社

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

キリスト教学ⅩⅡ

〔担 当 者〕杉山 博昭
〔開 講 期〕1 期
〔授 業 形 態〕講義 〔単位〕2
〔科目ナンバリング〕100B1-2340-o2

●本授業の概要：

イエスの教えの中心は、愛である。「隣人を愛せよ」が第一の掟である。隣人とは、誰かという律法の専門家の質問に対して、イエスはよきサマリア人のたとえを話された。私にとっての隣人は誰かではなく、隣人にならなさいとの教えであった。

そのことを、実際に隣人愛に生きたキリスト者の行動の軌跡をみるなかで理解する。とくに岡山に関係した動きとカトリック福祉の動きを重視する。

●到達目標：

- 社会福祉の理念について、実践の歩みを通じて説明することができる。
- 社会福祉の先駆者の功績について説明することができる。
- 社会福祉とキリスト教との関係について説明することができる。
- 社会福祉実践やボランティア活動への関心を高め、自ら取り組むことができる。

●成績評価の基準：

授業時の課題 30%（到達目標1, 2, 3）
レポート 70%（到達目標1, 2, 3, 4）

●留意事項：

人間生活学科社会福祉士課程の学生は、受講することが望ましい。もちろん、他の学生の受講も歓迎する。
オフィスアワー、火曜日 12時限
質問は随時電子メールで受け付ける（アドレスは第1回授業時に提示）。

●実務経験の授業への活用方法：

特別養護老人ホームや障害者作業所で高齢者や障害者の支援に携わった経験から、福祉実践における理念や価値が現場の実践において大切であることを具体的な事例などから説明し、理念と実践を結びつけた社会福祉論を提示していく。

●授業予定一覧：

- 社会福祉とキリスト教
- ド・ロ神父と長崎の女性たち
- 近代初期のカトリック慈善
- 石井十次と岡山孤児院（1） 孤児院の創設と展開
- 石井十次と岡山孤児院（2） 石井の思想とその意義
- アリス・アダムスと岡山博愛会
- 岡山県岡山市北区川入 岡山出身のキリスト教社会事業家（1）山室軍平
- 岡山出身のキリスト教社会事業家（2）留岡幸助
- 知的障害者とともに 石井亮一・筆子
- カトリックによるハンセン病者への支援
テストウイド神父 岩下壮一 井深八重
- 病のなかにある人のなかで 戸塚文卿 フロジャック神父
- 賀川豊彦の活動
- 視覚障害者の福祉 岩橋武夫 ヘレン・ケラーの来日
- キリスト教と保育
- 戦後の復興とカトリック
戦災孤児とカトリック福祉 北原怜子と「アリの町」

レポート

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

取り上げる人物に関する参考文献を、事前または事後に各自で読むこと。人物に関する情報を文献やインターネット等で収集しておくこと。これら事前・事後の学習を各1～2時間程度行うこと。

【必携書（教科書販売）】

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】

<必携書>

授業時にプリントを配布する。

<参考書等>

『聖書』（日本聖書協会の新共同訳または聖書協会共同訳が望ましいが、他でも可）

キリスト教学ⅩⅢ

〔担 当 者〕 小林 修典

〔開 講 期〕 1 期

〔授 業 形 態〕 講義 〔単位〕 2

〔科目ナンバリング〕 100B1-2340-o2

●本授業の概要：

日本の社会において、子どもたちの人間形成と教育に、キリスト教はどのようにかわってきたのかを概観する。日本の児童文化の歩みのうちに、キリスト教精神やキリスト教的ヒューマニズムを探っていく。

●到達目標：

- 1 さまざまなジャンルの児童文化に親しむ。
- 2 キリスト教について理解を深める。

●成績評価の基準：

平常点（課題など） 20% （到達目標 1、2）
期末レポート 30% （到達目標 1、2）
期末試験 50% （到達目標 1、2）

●留意事項：

オフイスアワーは授業中に指示する。

●実務経験の授業への活用方法：

●授業予定一覧：

- I 児童文化とキリスト教 － 歴史的側面
- 1 日本の教育・児童福祉とキリスト教 － その流れの概観
 - 2 幼児教育とキリスト教 － 幼稚園の誕生・フレーベル「母の歌と愛撫の歌」
- II 子どものための聖書 － 聖書物語に親しむ
- 3 旧約聖書 （1）天地の創造
 - 4 旧約聖書 （2）神の約束
 - 5 旧約聖書 旧約聖書に登場する人々
 - 6 新約聖書 （1）イエスの生涯
 - 7 新約聖書 （2）イエスの行いとことば
- III カトリックの伝統
- 8 聖母と聖人たち － 子どものための聖人伝
- IV 子どもたちと宗教行事
- 9 クリスマスと児童劇他
- V キリスト教児童文学
- 10 日本での展開 － その流れの概観
 - 11 日本で読まれた西洋の名作（1）
 - 12 日本で読まれた西洋の名作（2）
 - 13 日本で読まれた西洋の名作（3）
 - 14 日本の作品
- VI まとめ
- 15 日本の文化とキリスト教

期末試験

●準備学習（予習・復習）に必要な学修内容：

自主的かつ積極的に予習・復習をすることが望まれる。特に、配布資料と教科書を読み込んでおくことが重要である。期末の課題レポートは、授業で探究したテーマを更に深く問うものである。そのほか、各自の関心に基づくテーマを扱うレポートも課されるので、日頃から授業外での学習をすすめていくことが求められる。

【必携書（教科書販売）】

『子どものための旧約聖書』、菊池多嘉子、サンパウロ
『小学生の聖書 新約』、木村義男、サンパウロ

【必携書・参考書等（教科書販売以外）】